

# 『リスクマネジメントプログラム』研修の全体像

## ■1st ステップ

### 『知』のアップデート

- ☑ “二つのリスク”の検証、その対応策として「会社人間」から『社会人材』となる意義を認識する。
- ☑ 長丁場となった「人生&仕事人生」を全うするための『羅針盤』を学ぶ。
- ☑ 『社会人材』が持つ『指針』を知り、『Well-being』を判断軸としてこれからの人生&仕事人生を考える。

- 羅針盤：時代観/人生観/仕事観
- 指針：SDGs+Well-being
- 【時代を掴む】【社会人材化】編資料（計180枚）より抜粋
- 『Well-being度』診断

次回への課題

## ■2nd ステップ

### 『仕事人生』のアップデート

- ☑ 「これまでの人生&仕事人生と自分」を総括し、『これからの人生&仕事人生と自分』に期待する。
- ☑ 培った「経験」を『経験値』に変換して広く社会で通用するようにする。
- ☑ “二つのリスク”を取り巻いている“5つの課題”を見える化し、その解決策を学ぶ。

- 【時代を掴む】【社会人材化】編資料（計180枚）より抜粋
- 『総括』シート
- 『経験値への変換』シート
- “5つの課題”

次回への課題

## ■3rd ステップ

### 『社会人材』へのアップデート

- ☑ 自分自身の『人生の目的』と『幾つもの役割』を考え、学ぶべき『3つの分野』を知る。
- ☑ これからの『アクションプラン』と『未来像作り』を行う。
- ☑ 研修の締め括りとして、『社会人材』となる決意表明と半年後の自分にエールを送る。

- 【時代を掴む】【社会人材化】編資料（計180枚）より抜粋
- 学ぶべき『3つの分野』
- 『アクションプラン』シート
- 『未来像作り』シート

## ■フォローアップ

- ☑ 『アクションプラン』の進捗状況の共有
- ☑ 『未来像作り』シート作成のフォロー
- ☑ 個別支援の実施

※「3回/各1日の集合研修+フォローアップ」がフルスペックですが、講演（90分）や1日研修など、ご要望に応じてどのようにもカスタマイズできます。

## “二つのリスク”とは

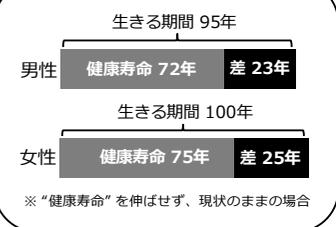
最頻死亡年齢 (最も死ぬ人の多い年齢)	(厚労省2019年)	
	男性	女性
男性：88歳	1位 88歳	92歳
女性：92歳	2位 87歳	93歳
	3位 89歳	91歳

※皆さん「昭和ひと柄」生まれ

現50代の  
「生きる期間」：男性 95歳まで  
女性100歳まで  
「働く期間」：75歳や80歳まで  
「年金支給開始」：75歳から

※現50代が90代になるのは40年後のこと  
——『未来への時間軸』を持つ。

「生きる期間」と「健康寿命」の差  
= 要医療・要介助の期間  
(不自由で不本意な期間)



※“職業寿命”を75歳や80歳まで伸ばすだけでなく、“健康寿命”を95歳/100歳まで伸ばす必要がある。

「現在55歳の男性」であれば

- これから40年間、  
**リスク (-)** 95歳人生に耐えられるか？  
※“健康寿命”を伸ばせるのか？
- リスク (○)** 大きく変わっていく社会の中を生き抜いていけるか？  
※“職業寿命”を伸ばせるのか？同時に“健康寿命”を伸ばせる働き方ができるのか？  
※年金支給が「75歳から、減額」になっても大丈夫か？  
※医療の「負担率UP、保険の適用範囲縮小」になっても大丈夫か？

## “二つのリスク”を解消するための『羅針盤』

- 『Live longer、Work longer』の時代を生きる
- 『75歳、80歳まで現役』社会が既に始まっている
- 「楽しんで変化対応する」ポジティブマインドを持つ

□ 先行き不透明な『VUCA』の時代——だからこそ、ポストコロナの潮流を掴んで『新しいルール』を読み取り、先手を打って仕掛けていく。



- 『後半勝負』化する仕事人生、後半戦こそが本番である
- 『他者支援と貢献』に軸足を置く『社会人材』となる
- 『人間究極の仕事』は最後までしっかり生きることである

□ 55歳から始まる『二回目の仕事人生』——だからこそ、社会に恩返しをする意識を持つ『社会人材』となって、広く社会に出て自分を活用する。

- 『人生の目的』と『幾つもの役割』を果たしていく
- 『Well-being度』の高い『100年ライフ』を全うする
- 『100年ライフのサイエンス』と『リベラルアーツ』を学ぶ

□ 『100年ライフ』(男性95歳/女性100歳)——だからこそ、「いい人生だった」と最後に思えることを目的として、『Well-being度の高い生き方・働き方』をする。

人生観

仕事観